



『いのちの充電法』

校長 海 頭 巖

先日、教え子たちと野球を楽しむ機会がありました。教え子といっても早30歳代後半から40歳代前半の、いわゆるおじさんたちです。中学時代は鬼監督（私のこと）に鍛えられ、いやというほど野球をしてきた少年たちも、今では全くスポーツをしていない人、毎日ジョギングをしている人、時々草野球を楽しんでいる人などさまざまな状況でした。「どんな珍プレーが飛び出すことか!？」と楽しみにしていたのですが、珍プレーよりも好プレーの数が多いほど、とても引き締まった内容の試合展開でした。「さすが昔取った杵柄!」といったところでしょうか。

試合中に、おじさんたち（教え子たち）の動きを見てみると、中学時代を思い起こさせるような、投げ方・捕り方・打ち方・走り方なのです。そんなことに思いをめぐらせていた時、おじさん（教え子）の一人が、「先生の打ち方も全然変わりませんね。」「ユニフォーム姿もかっこよく、身体も良く動きますね。（これはお世辞と思う）」と言ってくれたのです。かつて身につけた着こなしや所作、癖というか、習慣というか、それぞれの個性を垣間見た気がしたのです。

さて、私の大好きなコピーライターひすいこたろう氏の著書に次のような文章があるので、紹介します。

- ・『enjoy』（楽しむ）＝『en』（中に）＋『joy』（喜び）
- ・『楽しむ』とは、『心の中に喜びをもつ』こと。
- ・『love』（愛する）の元々の意味は『喜びを見つける』こと。
- ・『dream』（夢）は、古英語では『音』『喜び』を意味していた。
- ・人生を楽しむ秘訣は、小さな喜びを大切にすることです。
- ・『いのちは、喜びというエネルギーで満たしてあげると自分でも思ってもいなかった才能が芽吹いていくものなのです』
- ・『jewel』（宝石）の語源も、『joy』（喜び）です。
- ・小さな喜びこそ、日常の中の『jewel』（宝石）なのです。
- ・『LOVE & ENJOY & DREAM』愛すること、楽しむこと、夢見ること、

それは、小さな喜びを見つけることから始まる。・・・と。（一部抜粋）

私は教え子たちに『野球は人生を豊かに生きていくための道具のひとつだ。』とよく言っていました。まさしくこの日は、20数年ぶりの再会の喜びと、野球といった大好きなものを通しての喜びが、私のいのちにエネルギーを吹き込んでくれたような気がしました。まさに、いのちの充電ができ、心豊かに過ごせた一日でした。今ではおじさんになった教え子たちも、私にとっては大切な『jewel』（宝石）たち。来年の再会と野球を楽しむ喜びを確かめ合えるようにと願い、ひすいこたろう氏の言葉を贈り、グラウンドを後にし、次の会場へ移動したのです。

（あれ！どこへ？ご想像にお任せします・・・。）

いのちは喜びの中でその芽が吹いていくものです。子どもたちも、心の中に喜びをもち、喜びを見つけてくれることを願っています。